



F u - Z i n



祭を想う子供たちの素直な心が
博多の町の未来をつくる

第6号

平成16年3月発行

「第11回 NPO博多の風 フォーラム」

- 「第3回祭壘子集まれ! 楽文コンテスト」表彰式
- 「第4回クリーン作戦」報告
- 「第12回NPO博多の風フォーラム」開催決定

第11回NPO博多の風 フォーラム開催!!

去る平成15年11月16日、明治生命ホール(博多区中洲)で第11回NPO博多の風フォーラムが開催されました。衆議院議員の統一地方選挙の投票日と重なり、来場の方も心配されましたが、多数のお客さまにご来場いただきました。

第一部では「第3回祭り童子集まれ!楽文コンテスト」の各賞の受賞式と受賞作品発表が行われました。その後、博多祇園山笠振興会の波多江副会長から総評をいただきました。

山笠は単なるお祭りではなく、福博で生活しておる我々の精神的な支えでもあり、生きがいでもあります。その大事な行事を支えてくれる、後輩の皆様が素晴らしい作品をつくっていた



だき、読んでいるときから涙腺を刺激される子供らしい素晴らしき作品を見ることができて、本当にうれしく思います。

私も博多で生まれて、博多で育ち、小さい時から現在まで山笠に関わっています。こういう素晴らしいお祭りを若い方が素直な目で見ていただき、感動して作文にして自分の心を伝えていただき、本当にありがたく思います。素晴らしい後輩ができたなど喜んでおります。



山笠は男の祭りではありませんが、今回たたくさんの女の人からの応募がありました。読んでみると、「何とかして山笠に参加したい」という想いがひしひしと伝わってきました。「体では参加できないけど、心で参加したい」といった事が作文の中にも出てきて本当に嬉しかったです。

こういう素晴らしい山笠のために我々も一生懸命がんばってきます。男の子は早く参加していただき、そして、女の子は博多のこりよんさんのお手伝いをしながら山笠を末永く応援していただきたいと思います。

本当に今日の作文を読ませていただき、山笠に参加している一員としてとてこんなに嬉しい事はありませんでした。ありがとうございました。

第二部では、九州朝日放送の奥田智子アナウンサーの公演がありました。題して「奥田智子の博多よもやま断」

「私はもともとの博多の生まれではありません。」奥田さんは、大分県の出身だそうで、父親の仕事の関係で九州を中心に各地を転々とされたそうです。

「ふるさととはどこか聞かれてもよくわかりませんが、九州の間であり、九州の気概を地味な父親と派手な母親から受け継いでいます。母親の教育方針であったと思いますが、私は小さい頃から「前に出る」という事や「表現する」という事を教えられてきました。その中のひとつで



2歳半くらいから、のど自慢大会などにも出ていました。実はこの明治生命ホールから生放送のテレビ中継には3歳くらいで出場し、衣装なども自作してフラダンスを踊りながら歌いました。当時はそういう素人ののど自慢大会が多かったと思います。」

奥田さんがおっしゃるには、「ま多の町に住むという事は、」まわりから背中を押されて人前に出たら何かを表現する」そんな機会が多くあるということのようです。そしてまわりの人たちも暖かい目で見てくれる風土を持っています。そう言われてみると、芸能人に福岡(博多)出身が多いのもわかります。歌とお芝居が好きな奥田さんは、中学以降を博多の町で過ごされて、ここでの経験が現在の仕事にも活かされている様です。

最近では毎週水曜日の「バオーン」というラジオ番組で、大庭宗一理事長や沢田幸二アナウンサーと一緒に元気な声を聞かせてくれます。ナレーションを担当されている「九州街道ものがたり」は民放では珍しい歴史の番組で今では700回を超え、ライフワ



クとして取り組んでいらっしゃると思います。奥田さんも関心の高い博多座関連の番組では博多座の会場前から中継をするラジオ番組「博多座・夢舞台」や「座・博多座」などで博多座に出演するいろいろな役者さんに話を聞いたり、講演前に東京や名古屋に取材に行ったりされているそうです。

「最初は歌舞伎の事などまったく分からなかったけど、いろいろと勉強をしていくうちに、博多の町がいかにか文化を育てる素地ができているか、改めて再認識しました。博多には、いろいろ良い文化はありますが、博多座ができたことよって、東京の第一級の文化を定期的に見せていただける

いい場所ができたと思います。」

演劇界は景気の影響を受けやすく、どんなにいい芝居であったとしても満員になることはなかなかないそうですが、博多ではお客さんの入りがとても良いそうです。

「博多座で演じる役者さんの方々が共通して感じられている事ですが「博多にきたら最高の演技をしようと思う」という事だそうです。なぜなら、お客さんの見方が非常に良いそうです。芝居に対し暖かい目でみてくれるので、役者さんもまた燃えてくれるそうです。だから、東京でも見せてくれないような良い演技を見ることができると、

日本中で最もよい芝居がこの博多の地で演じられているということだと思います。」

確かに博多の文化のためにもっともよいことだと思えます。文化とは表現する人たちだけが芸を磨き、修練するのではなく、それを見る周りの人たちによつて磨かれるものだと思います。

「最近では東京に行かず、この地に残って博多でかんばる人たちができています。そしてそういう土壌が博多の方でもできるようになってきているし、私も博多の地で文化を育ててい



きたい。私の仕事はアナウンサーですが、博多で何かを作り出そうという気持ちが強くなり、いい番組を作り、いい人を育てていきたい。その中で出会った人との繋がりを大切にしたいと思います。」

その後、九州朝日放送で同僚である沢田幸二アナウンサーと大庭理事長との三人でトークバトルに突入しました。この三人は先述したKBCラジオで好評放映中の「バオーン」という番組で水曜日を担当され、一緒に仕事をされており、息もぴったり。入社当時の話やラジオ放送中の一幕など奥田さんのいろいろなエピソードの紹介や番組制作の裏話などを楽しくお話していただきました。今回のフォーラムを通じて奥田さんの天真爛漫な明るい人柄がわかり、今後いっそうと親近感をもってラジオを聞けそうです。

(帆足祐司)

第12回 NPO博多の風フォーラム開催

■開催日時 平成16年4月18日(日)
開場 12:30/開演 13:00

■開催場所 明治生命ホール(明治生命ビル8F)

- 第一部 「NPO博多の風」事務局だより
- 活動報告及び今後の活動の予定
- 第二部 講演
- 講師 ウーC・リー氏
(在福岡アメリカ領事館首席領事)
- 演題: ウーC・リーの博多よもやま噺
(仮題)

主催: NPO博多の風
後援: 在福岡アメリカ領事館

ウーC・リー氏 プロフィール
【在福岡アメリカ領事館 首席領事】

生年月日: 1965年4月1日 出生地: 大韓民国ジンヘ

1987年 エール大学卒業(専攻: 東アジア研究)
1988年 横浜のスタンフォードセンターで日本語研修
1990年1月 米国國務省入省
1990年~1992年 フィリピンアメリカ大使館副領事、大使補佐官
1992年~1994年 在日アメリカ大使館政治担当二等書記官
1994年~1995年 ワシントンD.C.の國務省で東アジア・太平洋担当國務次官補付補佐官
1995年~1997年 國務省中国語研修所で語学研修
1997年~2000年 在中国アメリカ大使館政治担当一等書記官
2000年~2001年 横浜のアメリカ國務省日本語研修所で語学研修
2001年7月 在福岡アメリカ領事館 首席領事として兼任現在に至る

趣味: 読書(歴史物や一般小説) テニス、ラテンアメリカ音楽鑑賞

アメリカ領事館首席領事の話が聞けるまたとない機会です。多数のお客様のご来場をお待ちしております。

第4回クリーン作戦開催

平成15年11月16日、会員の皆様のご協力で8時30分より「第4回クリーン作戦」を実施。今年は銀杏の色付きもまだ遠く、落ち葉の散りも少なく、ゴミを中心に清掃を続けました。8月に施行されたモラルマナー条

例のせいか、タバコのポイ捨ても減っていたように感じました。一般参加の方々の協力で、額に汗をにじませながら約3時間の清掃活動で集めたゴミは50袋強。改めて、ゴミの多さを実感しました。
(中山肇)



『第5回 NPO博多の風 クリーン作戦』のお知らせ

年2回のクリーン作戦もはや5回目。次回は5月16日に開催します。NPO博多の風のメンバーと一緒に博多の街を美しくしましょう。お友達等をお誘い合わせの上、ご協力よろしくお祈いします。

■平成16年5月16日(日) 8:30集合(11:30解散予定)

■集合場所: 冷泉公園(南側の角)



幹事会研修旅行 実施報告

平成15年12月20日から21日にかけて、湯布院にて、NPO博多の風幹事の研修旅行を行いました。20日未明から降り出した雪でバスでの移動が心配されましたが、途中で高速道路が一時閉鎖され、一般道に進路を移した事を除いては得に問題もなく到着しました。会場では副理事長と事務局長に、平成15年の活動の抱括をいただき、今後のNPO博多の風の活動方向や、目標等をお互いに再確認しました。温泉で鋭気を養い普段ではなかなか話せない、幹事同士の本音の話も飛び出し非常に有意義な一日でした。翌日は雪もあがり、冬晴れの空の下、雪帽子を冠った湯布岳をバックに記念撮影を行いました。
(中山肇)



福岡ダイエー 佐々木博茂さんを囲む会実施

平成16年1月14日(水)酒房やす。において、「佐々木博茂氏を囲む会」がおこなわれました。

佐々木氏は昨年12月2日付けで福岡ダイエーホークス代表取締役会長に就任されましたが、球団の課題である現場(監督、現場)とフロントとのコミュニケーションのパイプ役として、ファンの期待を一身に受けての就任劇となりました。そこで、日頃から面識があり氏のお人柄を知る有志で是非、機会を作り佐々木氏を励まそうという事で、大庭理事長外、博多の風関係者3名が発起人となり呼びかけ、結果として35名の著名な方々の賛同を得ることができました。当日の主な出席者は、松本龍衆議院議員、ウー・C・リアメリカ領事館首席領事、高橋NTTドコモ九州社長、猪立山ドコモサイピス九州社長、石上RKB毎日放送社長、藤木グランドハイアット福岡社長、岡部毎日新聞



社福岡本部長の方々で、3時間30分の間、佐々木氏と語り合い有意義な時間を共有することができました。また、当日参加できないからという事で、前日の13日に松尾九州電力社長、本



田福岡シティ銀行頭取、石原JR九州社長もメッセージを伝えに見えました。なお、佐々木氏には賛同者全員の名前を刻印した、祈り日本一の木彫りの楯が記念品として贈呈されました。さらに参加者全員にミニサイズ木彫りストラップが配られ、盛況のうちに終了しました。

(福田一男)

IBMユーザー会出席

NPO博多の風特別会員である日本IBM主催の「九州IBMユーザー研究会新春例会」が、1月22日(木)16:00からホテル日航福岡にて行われ、NPO博多の風理事・幹事約20名で参加しました。

講演会では、精神科医・エッセイストの、きたやまおさむ氏(元ザ・フォーク・クルセダーズ)による「日本文化の中の人間関係論」を聴講することが出来ました。「人の心には意識と無意識があり、無意識は裏に追いやられている気持ちで様々な症状を創り出しており、一つの解決法として何かしら言葉にする、表現することが効果的である」と精神科医としての経験をもとに、「話を聴くこと」や「対話の重要性」を強調されました。

また、浮世絵に描かれた母子の構成をもとに「文化の継承とは見せてあげることによるものであり、言葉の継承でもある。文化と言語との横並び」を指摘され、個人の文化となっている現代において横の繋がりを大切にしたいとも述べられました。余説ですが、「この無意識とは過去の経験によるものであり、特に男は過

去に引きずられている。」そうです。

講演会の後に行われた新春懇親会においては、IBMユーザー会の様々な方とお話をする機会を得ることができ大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。会の最後にはNPO博多の風メンバーによる博多祝い目度と博多手一本を執り行い、「九州IBMユーザー研究会新春例会」は豪華絢爛のうちに散会致しました。

(山口覚弘)

九州IBMユーザー研究会 新春例会 発足50周年記念



風人
来人人

会員紹介 野田輝幸さん



氏名：野田 輝幸（42歳）
職業：福岡市農協組合職員
土居流 下土居町
NPO博多の風 会計担当理事、
クリーン作戦担当理事

私が山笠に参加するようになったのは、奈良屋校区に住んでいたので、母の姉が網場町でお菓子屋と八百屋を営み、その叔父さんが下土居町から山笠に参加していた関係で、3歳の頃叔父さんに連れられて参加したのが初めてでした。子供のころの思い出としては、わんぱくで食いしん坊な方でしたので、存分に水遊びができ、濡れても怒られず、その上直会でご飯を食べて、帰りにはお菓子までもらえるという子供にとっては楽園にいなような期間でした。時には、山笠で使用する水を使いきって怒られるこ

ともありました。小学校の学年のころは女の子を意識し始めたのか、縮込み姿に恥ずかしさを感じましたが、中学校の時には誇りにさえ感じるようになりました。

小学校4年生から剣道をはじめ高校までに、いろんな大会に参加するようになりました。その中でも7月に大きな大会（玉竜旗）があった関係で、山笠に参加できない時期もありました。剣道では、根性・忍耐・努力、勝った時の喜び（努力すれば報われる）等を学び私の基本的な部分を締めているのですが、現在は、個人プレーである剣道に無い

組織プレーとして、山笠を通していろんな勉強をさせて頂いていると思っています。福岡で就職をする事ができ、初めの2・3年は山笠に全日程参加することができませんでしたが、今では山笠を理解してもらい大いに参加させてもらっています。（職場の人のおかげだと思います）

山笠での一番辛い思い出は、平成元年に下土居町が本番をした年、当時28歳で若者頭として6月まで一生懸命がんばっていたのですが、7月1日に会社の辞令で9日から14日まで東京に研修に行つてこいと言われた時でした。その年はよかトビアの年で、8日まで山笠に参加し、9日から東京へ研修に行きました。研修中12日に追山笠馴染しのニュースをテレビで見ると、何故自分は東京にいるのかと思ひ、山笠にでたい思いと仕事なので仕方がないという考えが葛藤しながら過ごしていました。14日の夜遅く大喜びで帰福し、追山笠には参加する事ができたのですが、直会の席で嬉し涙を流し慰労しあっている若者たちの中へ

自分自身が入ることができず、涙さえでなかった時は悔しかったです。この涙は、うれしい事、辛かった事、やり逃げた達成感などいろんなものが入ったものだと思いますが、絶対この涙を次の本番の平成10年には味わうぞという思いでがんばった経緯があります。

山笠を真剣に考えたのは、立場として役員に近くなつてからです。それまでは、ただ山笠に参加して、昇ついで、良かったという程度の喜びであったのが、若者頭・赤手拭になり、町内の運営やまとまりを考えるようになり、運営していくためのいろんな経験をする事ができました。平成10年には赤手拭として本番をやり逃げ満足しました。取締りになってからは、町内だけではなく、他の町また他の流のことも考えなければなりません。上になるにつれて山笠の重みを知り、やる気を奮い立たせてくれると思います。現時点での目標は平成19年の本番で取締りとして無難に事を成し逃げたいと考えています。無難にすることは、問題がおきた時にサラッ

と対応できる経験・知識・決断力が必要ですので、難しいことだと思っています。

私の山笠の基本は、山笠についた時にどれだけ目立ちきれるかと思っています。目立つとは、自分が山笠について声を出し、周りの昇手に影響を与え、昇手が一つになって盛り上げる事ができ、山足を速くすることです。このことをいつも心がけています。

山笠では、社会勉強ができる場でもあります。普段家ではしない、皿洗い・掃除・目上の人に対する言葉使いなど、中学生の時（若者として）からしている、必ず社会に出た時に役に立ちます。また、自然に目配り・気配り等も身につけてきます。親の言う事には反発するが、山笠の人達から言われた事は素直にきくような場合もあり、山笠が子供を立派な大人に育てていきます。小さい子供から年配の方まで集まって一つの事を成し逃げていくものはなかなか無く、山笠の良いところでもあり、継続していかなくてはならないと思います。

NPO博多の風16年度

4月18日 第12回博多の風フォーラム
講師：ウー・C.リー氏(アメリカ領事館)

5月16日 第5回はかたの町クリーン作戦

6月6日 第3回博多祇園・山笠 追い山コース探訪!!

第4回祭り童子集まれ!楽文コンテスト

第13回博多の風フォーラム

10月 第6回はかたの町クリーン作戦

11月

※開催日時異なる場合がございますので、予めご了承ください

平成16年度NPO博多の風運営体制

平成16年度の総会にて新しい役員人事が発表されました。それに伴いそれぞれの事業運営部会の世話人も新しく選出されました。

理事長 大庭 宗一
副理事長 笠 信一
(財務、山笠コース探訪担当)
大庭 信雄 (イベント統括担当)
太田 勇之助
(小学校跡地利用、山笠台製作担当)

理事 福田 一男 (事務局長)
松本 昭久 (企画担当)
野田 輝幸 (会計、クリーン作戦担当)
因幡 敏幸 (楽文コンテスト担当)
緒方 照基 (フォーラム担当)
野中 雅治 (広報担当)

監事 粟田口 欣社
森 厚
[新任] 太田 知
顧問 倉田 眞

【各事業世話人】
松本 龍司 (フォーラム担当)
後郷 光信 (小学校跡地利用担当)
坂口 卓司 (楽文コンテスト担当)
山口 覚弘 (広報担当)
村岡 昌哉 (クリーン作戦担当)
待永 光之 (山笠台製作担当)
染矢 純一 (山笠コース探訪担当)

新しい役員・世話人の体制で今後さらなる企画や運営を考え、協力会員の皆様と共に、がんばって行きたいと思っております。

NPO博多の風 賛助会員募集のお知らせ

我々「NPO博多の風」の主旨をご理解いただき、活動に賛同いただける方を広く募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

●お問合せは「NPO博多の風」事務局(担当・福田)
TEL: 090-1349-5982
FAX: 092-263-7188

NPO博多の風ホームページ

<http://hakatanokaze.jp>



活動報告はもちろん、幹事紹介なども更新していきます。

●ご意見・ご感想をお待ちしています

～編集後記～

冷泉公園の桜のつぼみも膨らみはじめ、本格的な春の訪れを感じる時期になりました。奥田智子さん・きたやまおさむさんから「文化」についての話がありましたが、手元にある辞典には「その人間集団の構成員に共通の価値観を反映した、物心両面にわたる活動の様式(の総体)。またそれによって創り出されたもの。」とあります。「文化」というと学問や芸術と考えがちですが、価値観の共有・人と人との繋がりが大切であると感じました。人にはそれぞれに「想い」があり、いろんな人の「想い」を繋げてみんなの文化となり、はてはそれが地域の文化となっていくものかなとも思いました。そういう「想い」を繋げられるような活動を目指していきたいと思えます。

「NPO博多の風」

広報事業部・中山 肇

NPO博多の風のあゆみ

- 平成 10年 9月 任意団体「博多の風」設立
代表：大庭宗一
- 10月 第1回博多の風フォーラム開催
講師：松本龍氏（衆議院議員）
- 11年 4月 第2回博多の風フォーラム開催
講師：倉田 真氏（毎日新聞編集局長）
- 10月 第3回博多の風フォーラム開催
講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
- 12年 4月 第4回博多の風フォーラム開催
講師：坂口卓司氏（RKB毎日放送アナウンサー）
- 5月 大庭宗一と博多の風の仲間たち監修
「山笠の風」出版
同出版記念パーティ開催
- 5月 NPO（特定非営利活動法人）認証取得
理事長：大庭宗一
- 6月 NPO 博多の風として登記
- 10月 第5回NPO博多の風フォーラム開催
講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
- 11月 山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
- 13年 4月 第6回NPO 博多の風フォーラム開催
講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
- 5月 作文コンクール
「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」
実施（5/1～7/31）
- 7月 「NPO博多の風フォーラム」
福岡県21世紀記念事業認証取得
- 10月 福岡県21世紀記念事業
第7回NPO博多の風フォーラム開催
講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長）
永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長）
緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
- 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」
優秀作品表彰式
- 14年 4月 第8回NPO 博多の風フォーラム開催
講師：安達一成氏（毎日新聞社記者）
- 4月 博多の風ホームページ開設
- 5月 第1回 クリーン作戦開催
- 6月 「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
- 7月 作文コンクール
「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」
実施（6/1～9/2）
- 10月 「博多の風広報誌：風人」発行
- 11月 第9回NPO博多の風フォーラム開催
講師：高橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
- 11月 第2回 クリーン作戦開催
- 15年 4月 第10回NPO 博多の風フォーラム開催
講師：永守良孝氏（RKB毎日放送株式会社 取締役）
- 5月 第3回 クリーン作戦開催
- 6月 「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
作文コンクール
「第3回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」
実施（6/1～9/2）
- 11月 第11回NPO 博多の風フォーラム開催
講師：奥田智子氏（九州朝日放送アナウンサー）
- 11月 第4回 クリーン作戦開催
- 16年 4月 第11回NPO 博多の風フォーラム開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027
福岡市博多区下川端町8-16 -302
TEL&FAX 092-263-7188
E-Mail npkaze@juno.ocn.ne.jp
URL <http://hakanokaze.jp>

NPO博多の風事業概要

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動
「探訪!博多祇園山笠 追山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集まれ！楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

監字：新井光守

